

学校だより

NO. 29

H28. 7. 8(金)

(2016年度)



学校教育目標

心身ともに健康で、個性豊かな
実践力のある子どもの育成

めざす子ども像 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

夏のよそおい・・・！

一気に夏の気候になってきました。

学校水泳でプールサイドの気温が34～35℃を示す日が続いています。校舎の周りも夏のよそおいが目立つようになってきました。

5年生が水土里プロジェクトおばたの方々と保護者のみなさんと植えた稲が色づき、原画の

色彩に近づいて映えてきています(写真右)。校地内では、1年生教室南側の通路に置かれた

「あさがおの鉢」が満開となり、朝の陽射しを浴びて咲きほこっています。西の通路には、2年生の野菜の鉢が、きゅうりやなす、ミニトマト、オクラなどが実りのときを迎えています。なかにはすでに収穫し、ご家庭に持ち帰った2年生もいることでしょう。北側学級園では、理科で栽



培している4年生のひょうたん、5年生のへちまがどんどん成長しています。

1年生のアサガオ(左)

4年生のひょうたんと5年生のへちま(写真中、右)

福田 碧(ふくた あお)さん、全国大会へ！

6年C組福田 碧さんが、さる7/3(日)の県大会・陸上競技400MRで県大会優勝メンバーとなり、8/20(土)21(日)横浜市三ツ沢陸上競技場で行われる「全国小学生陸上競技大会」に出場することになりました。おめでとう。

碧さんは市内にある陸上クラブに所属していて、県大会のリレー53“14の新記録を4名で出し(従来の記録は53”44)みごと優勝。今後は、8月に全国大会出場の報告を伊勢市長・教育長にして、激励を受ける予定です。がんばれ！碧さん！！

深津弘季君、ありがとう！

5年C組深津弘季君が応募していた「みつばち文庫」にみごと当選し、明野小図書館に9冊(約15,000円相当)を寄贈してくれました。5Cの学級通信では、すでに紹介済みですが、全校で感謝をしたいと思います。

弘季君、ほんとうにありがとうございました。

なお、寄贈してくれた本は『惣一じいちゃんを知っているかい？農業のこと』『10歳の質問箱 なやみちゃんと55人の大人たち』『給食室のはるちゃん先生』『ぼく生きたかったよ〜くまのおやこニコ〜とリコー』『おいでよ森へ』『タケノコごはん』『ハリネズミと金庫』『見上げてごらん！空のふしぎ図鑑』『わたしの沖縄戦③弾雨の中で〜沖縄島南端で迫る恐怖〜』です。

組み体操の実施に向けて！

今年度の運動会は、4月当初の年間行事予定でもお知らせした通り、9/24（土）に開催します（以後、順延）。ご予約いただきますようお願いいたします。

毎年5・6年生が行ってきている『組み体操』ですが、学年の保護者の皆さまを越えて、たいへん感動を呼び、好評で、子どもたちと担当学年の先生たちがともに創り上げている取組の一つとして、その過程も評価していただけてきました。「続けてほしい」というお声もたくさんある一方、けが等を心配される声・反対の声も数軒いただいております。

昨年度より、世間では『組み体操』のピラミッド・タワーの高さをむやみに上げる風潮やむずかしい技の実施などを危惧する声が広まり、3月には、文科省と三重県教育委員会から「組み体操等による事故防止」や「ピラミッドやタワーの制限」の通知が出されました。

今年度の組み体操についてどうするか、先生たちと4月当初より話し合いを重ね、5月の家庭訪問では、5・6年生の保護者の方々に直接担任と意見交換もさせていただきました。結論から述べると、



3年生の理科の実験(上)

本文とは関係ありません

○組み体操は実施。ピラミッドやタワー、二人組みの技もできるかぎり例年と同じよう実施。

（ただし、練習の段階で、昨年度、一昨年度も取り組んでいます。一組一組の安全・けが防止を最大限確認しながらの練習を実施。また、一人一人の姿勢や能力に応じ、技の軽重を考慮し、取り組ませていくこと。また、無理に取り組ませず、集団演技としても取り組むこと）

○特に、練習の際のケガを防止するため、管理職もふくめ、5・6年生の練習での支援・補助の職員の数を増やして実施。

ということです。5・6年生の保護者の方からは、「感動するものを頼みます」「集団的活動は大事。



先生たちのリスクを考えた指導を信じる」などの声もいただきました。ありがたいと思う反面、責任の重大さも痛感します。子どもたちが、やりがいを持ち、人を支える・自分を支える筋力を鍛え、体を十分使って、達成感を味わうことができるものを、なおかつ、見応えのあるものにしていこうと、5・6年生の先生たちは考えています。1～4年生の保護者の皆さんも合わせ、5・6年生の保護者の皆さんも期待いただくとともに、取組にご理解をいただければ、と思います。プールサイドでの笑顔の1年生(左、本文とは関係ありません)

日本スポーツ振興センターの保険金還付について！

先日、学校での活動（登下校、授業中、その他の活動時間）でケガをして、病院にかかっていた際に保障させていただいている「日本スポーツ振興センター」の保険金の支払い方法が、保護者の方々の口座振り込みになることを通知させていただきました。

保護者の方々がお金を受け取りに、わざわざ学校まで来ていただくことを省くという、市教委の計らいで、この手順となりました。実際は、8月申請の文書から始まり、10月に口座振り込み開始となります。改めて、ご了承ください。その際に、

○お子さまが、ケガをして通院された際にかかった費用の一部返金をする

「保護者の方々の金融機関の口座」を記入する用紙も、

振興センターへの申請書にあわせて提出してください。

○お子さまのケガの治療等が2～3か月以上にわたる際は、「金融機関の口座」を記入する用紙も同様の月の枚数必要となることから、事務手続きを省くため、学校で1枚目をコピー・保管させていただくことをご了解ください。（市教委では、コピーで可との通知をもらっています）。

また、当然のことながら、金融機関の口座については個人情報ですので、厳重に保管いたします。